

■東郷重位 剣術家。藩主御前試合で師範に一瞬にして勝利、逆に師に迎えられ、薩摩示現流創始者になった。

とうごうちょうい

川中島最激戦1561＝

東郷氏の支流で瀬戸口領主の重為の次男に生まれる。

織田信長入京1568＝ 7歳：

石山合戦始・1570＝ 9歳：

室町幕府滅亡1573＝12歳：

\_\_体捨流の剣法を修業して、

上杉謙信没・1578＝17歳：\_\_島津義久が豊後大友義鎮の軍を高城に迎えた際に初陣し、戦功を上げる。

安土教会許可1579＝18歳：

以後も、義久に仕えて国分に住し、

本能寺の変・1582＝21歳：

\_\_弓馬・鉄砲・薙刀・鎧・くさり鎌の免許も受けていたが、

パレソ追放令 1587＝26歳：\_\_豊臣秀吉の九州侵攻に降伏した義久に従って上洛、  
刀狩海賊取締1588＝27歳：\_\_京都に滞在し、もと佐竹家臣で天寧寺の僧善吉から天真正自顕流を学び、  
・・・・・・1589＝28歳：国分に帰る。\_\_以後、次々と諸流の豪傑から挑戦を受けるも、生涯にわたって不敗。  
秀吉全国統一1590＝29歳：

慶長の役・ 1597＝36歳：

関ヶ原の戦・1600＝39歳：

\_\_やがて、義久の孫で、初代薩摩藩主となった島津忠恒(家久)に知られ、

糸割符法始・1604＝43歳：\*家久師範の体捨流東新之丞と立合わされ、一瞬にして勝利、怒った家久に手打ちにされるところを逆に認められ、その師になるとともに、お家流として、南甫文之により示現流と名づけられる。

江戸城完成・1606＝45歳：

家康駿府退隠1607＝46歳：

\_\_以後、鹿児島城下に屋敷と道場を与えられ、家臣はじめ士族の訓練に専念し、新たな打も考案する一方、  
\_\_たびたび家久の連歌の会に呼ばれて多くの句を残したのをはじめ、茶の湯をたしなみ、生涯に千冊以上の写本を残すなどし、

大坂夏の陣・1615＝54歳：

徳川家康没・1616＝55歳：

元和大殉教・1622＝61歳：\*家久の参勤交代に従って江戸に出た際、柳生流の旗本二人から試合を申し込まれ、家老が家久の許しを得て実施、あっという間に勝利して、二人とも弟子入りするが、家久の命で帰国、最後の立合いとなる。

徳川家光將軍1623＝62歳：

イスパニア断交・1624＝63歳：

\_\_以後寝食を忘れて、伝書の編集に取り組み、

徳川秀忠没・1632＝71歳：

鎖国令Ⅰ・ 1633＝72歳：

家光鎖国完成1641＝80歳：

初の高札・ 1642＝81歳：

寛永飢饉終・1643＝82歳：\*善吉和尚から与えられた三巻に十巻を加え、没した。

「人づくり風土記(鹿児島)」、